

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5-c	個人観察記録に実践内容と合わせて言葉、エピソードなどを記録しているが、記入量は少ない。	介護計画に沿った、具体的な記録の充実を図る。	利用者の日々の様子や仕草、表情をよく観察する。関わりの中でのエピソードを具体的に記録し、利用者の言葉はそのまま記入する。	6 か月	職員一人ひとりがケアプラン内容を意識した関わりと記録を実践できるよう、話し合いの場をもった。
2	10-a	「人権」や「尊厳」について、この1年間学ぶような機会を持っていない。	人権や尊厳について学ぶ機会を持つ。	資料や過去の研修報告を参考にして、朝の申し送り時等に読み上げる。ミーティングの際、各ユニットで勉強会を行う。	6 か月	
3	13-a	敷地内を散歩したり、花壇の花を見に出たりすることはあるが、外出の機会が少ない。	日常的に行きたい場所や今後行ってみたい所を個々に聞き、新型コロナウイルス感染が落ち着けば、季節を感じ気分転換できるような外出の機会を持つ。	天気の良い日は希望に応じて敷地周辺を散歩し気分転換を図る。法人からの外出許可が出た際にはコロナの感染予防対策を行い、希望の場所へ行けるよう買い物やドライブなどの機会をつくる。	12 か月	敷地内での散歩の機会は持ち、気分転換に繋げている。
4	17-1	管理栄養士と食事形態については随時話し合っているが、定期的に話し合うような機会を持っていない。	調理担当の職員中心に、管理栄養士と情報交換を行い、献立のバランスや調理方法などを工夫する。	利用者個々の食事形態やバランスについて、介護職員から聞いた内容を調理担当職員(調理師、薬膳調理師)が中心となり管理栄養士と話し合う。場合によってはメニューや食材の変更なども行う。	3 か月	肉、魚料理が続く時は、相談の上、メニュー変更を行った。
5	29-a	この1年間では、身体拘束や鍵をかけることの弊害について学ぶような機会を持っていない。	身体拘束や鍵をかけることの弊害について学ぶ機会を持つ。	資料や過去の研修報告を参考にして、朝の申し送り時等に読み上げる。ミーティングの際、各ユニットで勉強会を行う。	6 か月	

6	49-d	昨年の自己評価実施後は報告を行っていない。 モニターをしてもらう取り組みは行っていない。	今回の評価結果と目標達成計画の報告をする。	運営推進会議の参加メンバーに書面で報告する。 質問、助言等のアンケートを行う。	3 か月	
7	51-b	この1年間では、介護相談を受けるような取り組みは行っていない。	地域住民や、認知症の方との関わりの機会を設ける。	コロナの感染状況により中止になっていた地域の行事やサロンが再開された時は、相談支援などの機会をつくる。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。